

心の復興支援プログラム推進事業

宮城県教育委員会

1 事業の目的

児童生徒の東日本大震災によるストレスや困難等とともに乗り越えるために、復興に向けて心をひとつにした集団づくりを目指すとともに、一人ひとりが心の復興を図ることができるよう、みやぎアドベンチャープログラム（MAP）の手法を取り入れた集団活動等の実施を推進しています。

2 事業の概要

- (1) 県内指導者派遣事業
- (2) 推進実践校指定事業
- (3) 県内指導者研修会
- (4) 心の復興支援研修会
- (5) 緊急時対応事例研修会

3 具体的内容

(1) 県内指導者派遣事業

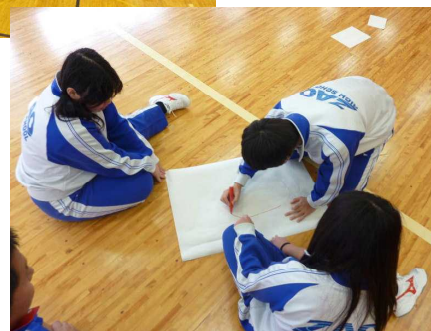
各学校等の要望に応じて、MAP県内指導者を半日または1日単位で派遣し、児童生徒の心の復興や望ましい人間関係の構築のためにMAPの手法を取り入れた活動を実践します。

(2) 推進実践校指定事業

- ① 実践校 県立高等学校2校
- ② 実践内容

- (ア) 生徒を対象としたMAP実践を積極的に導入し、必要に応じて県内指導者を派遣します。また、教員を対象とした校内研修会も開催します。
- (イ) 生徒を対象にQ-U（学級アセスメント）を年2回実施し、プログラムの実践による変化を測定します。
- (ウ) 実践成果等を県内指導者研修会で発表するとともに、学校HP上等で公開します。

◆推進実践校の取組の様子（蔵王高校）



(3) 県内指導者研修会

- ① 対象 県内指導者（MAP講習Ⅲ修了者及びPAJ主催研修受講者）
- ② 研修内容 指導者間で各所属におけるMAP実践に係る取組事例などの情報共有を行うとともに、ワークショップや実践研修を行い指導力の向上を図ります。
- ③ 実施回数 2回程度 ※ うち1回は（5）と兼ねています。

(4) 心の復興支援研修会

- ① 対象 県内公立学校の教職員50名程度。
- ② 研修内容 アドベンチャーの手法を用いた集団形成の理論や技術を身に付けるとともに、心の復興をテーマにワークショップや実践研修を行います。
- ③ 実施回数 1回

(5) 緊急時対応事例研修会

- ① 対象 県内公立学校の教職員（20名程度）及び県内指導者（定員なし）。
- ② 研修内容 危機や困難に遭遇した時、児童生徒が心と身体の安全を図りながら力を合わせて乗り越えていくための力を育むための手法等について、ワークショップや実践研修を行います。
- ③ 実施回数 1回 ※ （3）と兼ねています。

